

にほんご発音ラボ

とくしゅおん そくおん はつおん ちょうおん
特殊音（促音「っ」・撥音「ん」・長音「ー」）



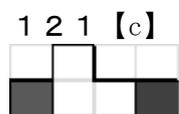
いっ・しょに

日本語には特殊音 から始まる語はありません。「かな+特殊音」で、いつも“いっしょ”です。「かな+特殊音」の2モーラを“一つにまとめる感じ”で発音しましょう。

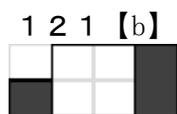


そくおん
かな+促音「っ」

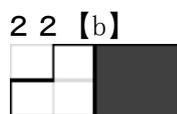
★促音「っ」は“長さ”と“詰まる感じ”が大切



⊗キ ッ プ



う た っ て

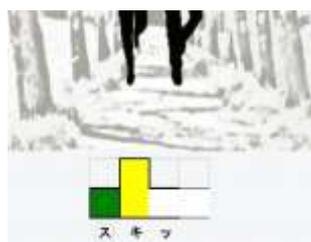


い っ しょに

♪「スキップ」や「うたって」の促音には音がありません。しかし、長さは1モーラありますよ（= ♪）。

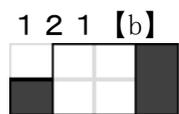
♪促音の次の“かな”がシャ行（例：しょ）やサ行ときには、[sh]という音が少しだけ聞こえます（= ♪）。

♪“詰まる感じ”も大切です。例えば「スキップ」では、「キ」と言ってから、できるだけ早く唇を閉じて、息を止めてください。これが“詰まる感じ”です。次の“かな”「プ」の子音[p]の発音を準備するのです。この歌では促音を4倍に長く作曲してありまから、その間は唇を閉じたまま、息を止めて待ちましょう。



はつおん
かな+撥音「ん」

★撥音「ん」は“鼻から息が抜ける音”



な ら っ ン で
 は ず っ ン で

♪「ならんで」の「らん」、「はずんで」の「ずん」の撥音では、次の“かな”「で」の子音[d]の発音を準備します。舌の先が上の前歯の裏についていますか。このとき、鼻を手でつまむと鼻から息が抜けなくて、うまく発音できませんね。

にほんご発音ラボ

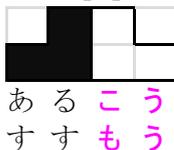
1 2 1 [c]



かな+長音「ー」

★長音「ー」は、すぐ前の「かな」の母音を伸ばして発音

2 2 [c]



♪「スウィング」は「ウイン」の次の“かな”「グ」の子音が[g]ですから、撥音では口が軽く開いたままです。同じ撥音でも唇や舌の位置が様々に異なります。歌詞の「どンドン」「ずんずん」「散歩」でも確かめましょう。

♪「あるこう」の「こう」をカタカナで書くと「コー」ですね。つまり、[ko]の母音[o]を伸ばして、[k:o]と発音します（長音の長さは1モーラ、[k:o]で2モーラです）。この歌では「こう」の長音を8倍に長く作曲してあります。“下がり目”まで、ずっと同じ高さで歌いましょう。



連母音はどちらも同じ大きさで、はっきりと

2 2 [b]



2 1 2 1 [c]



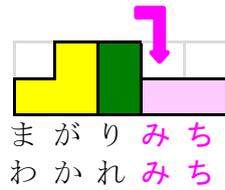
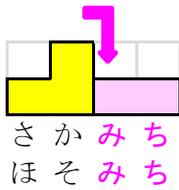
♪「つないで」や「はなさないで」の「ない(nai)」は、[nai]と[i]を、どちらも同じぐらいの“長さ”と“大きさ”で発音してください（これらの[a]と[i]のように独立した二つの母音の連続を「連母音」といいます）。

♪一方、英語の「二重母音」は一つの母音で、その中で前後の母音の“長さ”や“大きさ”が変化します（例：“nigh” [nái]は「ナ～イ」のように発音）。「つな～いで」「はなさな～いで」は不自然に聞こえてしまいます。注意しましょう。



「～道」は“後ろの名詞”が2モーラの合成語

2 [b]



♪急に低くなる所を“下がり目”といいます。「道」は2モーラ【b】型の名詞で“下がり目”がありません。しかし、どんな道かを表す合成語では“下がり目”が“前の語のすぐ後”になります。高さの違いをはっきりと発音してください。